

製造業

●概況

製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 8.8 ポイント改善の 11.1 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 16.3 ポイント改善の▲1.1、収益 D.I. は 17.9 ポイント改善の▲10.0 となっております。

経済活動の回復を背景に主要取引先からの受注量の増加に加え、営業活動の成果として新規顧客獲得に繋がった企業がみられており、業況判断 D.I. は改善し、3 期連続のプラス域で推移しております。

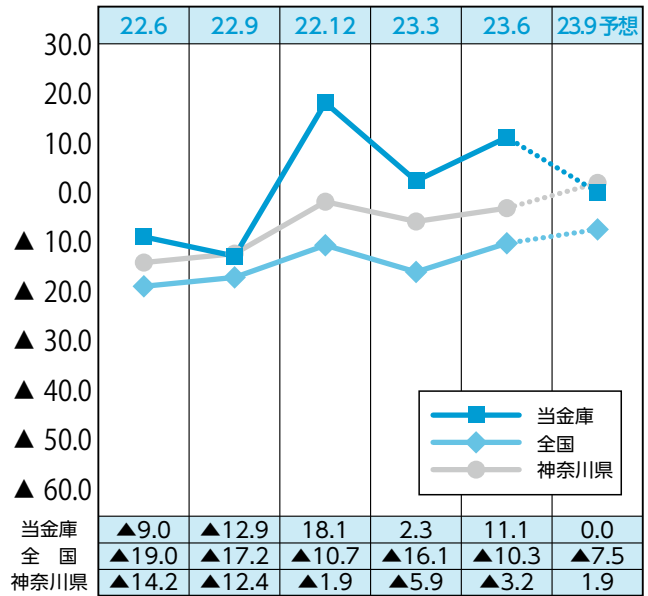
また、原材料価格については高止まりしているものの受注価格への転嫁が進んだことにより収益 D.I. について改善となっております。

しかしながら、人材不足が多くの企業において課題となっており、人手過不足 D.I. について悪化となっております。対応策として、派遣社員や外国人技能実習生の活用を進める企業がみられております。

なお、全国は 5.8 ポイント改善の▲10.3 となっており、神奈川県は 2.7 ポイント小幅改善の▲3.2 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 11.1 ポイント悪化の 0.0 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	D.I.			
前期実績	18.6	45.4	36.0	▲17.4
当期実績	27.7	43.5	28.8	▲1.1
来期予想	26.6	45.7	27.7	▲1.1
前年同期比	37.7	31.2	31.1	6.6

販売価格

	D.I.			
前期実績	26.7	67.5	5.8	20.9
当期実績	26.6	66.8	6.6	20.0
来期予想	14.4	79.0	6.6	7.8

在庫

	D.I.			
前期実績	12.9	81.3	5.8	7.1
当期実績	16.6	81.2	2.2	14.4
来期予想	12.2	85.6	2.2	10.0

人手

	D.I.			
前期実績	11.6	51.2	37.2	▲25.6
当期実績	+5.5	60.1	34.4	▲28.9
来期予想	+3.3	62.3	34.4	▲31.1

収益

	D.I.			
前期実績	17.4	37.3	45.3	▲27.9
当期実績	21.1	47.8	31.1	▲10.0
来期予想	20.0	50.0	30.0	▲10.0
前年同期比	33.3	32.3	34.4	▲1.1

原材料価格

	D.I.			
前期実績	79.0	21.0		79.0
当期実績	65.5	32.3	2.2	63.3
来期予想	50.0	48.9	1.1	48.9

資金繰り

	D.I.			
前期実績	17.4	66.4	16.2	1.2
当期実績	14.4	66.8	18.8	▲4.4
来期予想	11.1	72.3	16.6	▲5.5

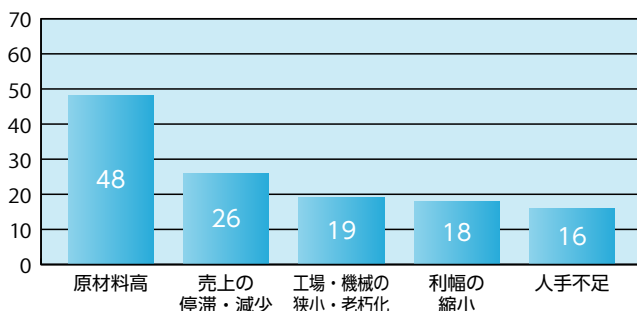
設備状況

	D.I.			
前期実績	+4.6	74.5	20.9	▲16.3
当期実績	+5.5	70.1	24.4	▲18.9
来期予想	+6.6	73.4	20.0	▲13.4

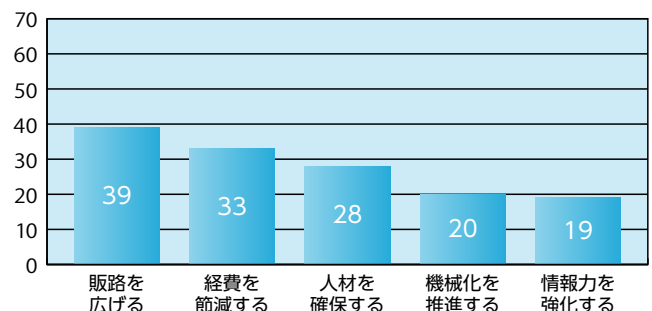
当期実績…2023年 4～6 月期
来期予想…2023年 7～9 月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
過剰、楽 適正 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

概況

卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 10.8 ポイント改善の▲3.5 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 14.4 ポイント改善の 17.9、収益 D.I. は 17.9 ポイント悪化の▲10.8 となっております。

食品卸売業では、飲食店等主要取引先の業況回復に伴い、受注量の増加となった企業がみられており、景況感の改善となっております。

しかしながら、原油価格や飼料価格上昇の影響により仕入価格は高止まりしており、高騰分を価格に転嫁できておらず、収益性の悪化がみられております。

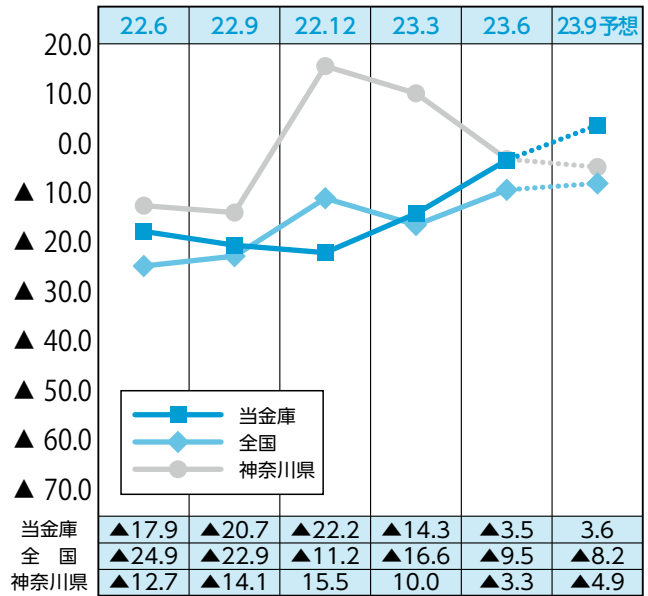
建材卸売業では、省エネ住宅改修工事に係る補助金制度の開始に伴い、住宅関連資材に係る受注量の増加がみられております。

しかしながら、同業他社との仕入競争及び建築資材高騰の影響により、収益性の悪化に繋がったことから、収益 D.I. が悪化となっております。

なお、全国は 7.1 ポイント改善の▲9.5 となっており、神奈川県は 13.3 ポイント悪化の▲3.3 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 7.1 ポイント改善の 3.6 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	D.I. 3.5		
前期実績	39.2	25.1	35.7
当期実績	35.7	46.5	17.8
来期予想	25.0	67.9	7.1
前年同期比	42.8	32.2	25.0

販売価格

	D.I. 50.0		
前期実績	57.1	35.8	7.1
当期実績	50.0	46.5	3.5
来期予想	39.2	60.8	

在庫

	D.I. 21.4		
前期実績	21.4	78.6	
当期実績	17.8	82.2	17.8
来期予想	17.8	78.7	3.5

人手

	D.I. ▲29.6		
前期実績	+3.7	63.0	33.3
当期実績	+3.5	78.7	17.8
来期予想	+3.5	78.7	17.8

収益

	D.I. 7.1		
前期実績	32.1	42.9	25.0
当期実績	14.2	60.8	25.0
来期予想	17.8	68.0	14.2
前年同期比	32.1	39.4	28.5

仕入価格

	D.I. 67.8		
前期実績	78.5	10.8	10.7
当期実績	75.0	25.0	
来期予想	60.7	39.3	

資金繰り

	D.I. ▲28.6		
前期実績	+3.5	64.4	32.1
当期実績	+3.5	78.7	17.8
来期予想	+3.5	78.7	17.8

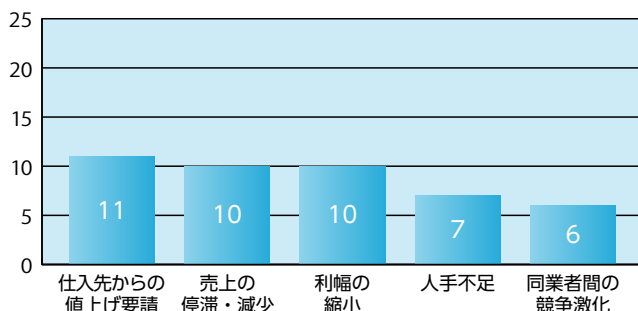
設備状況

	D.I. ▲7.6		
前期実績	92.4	7.6	
当期実績	92.9	7.1	
来期予想	+3.5	93.0	3.5

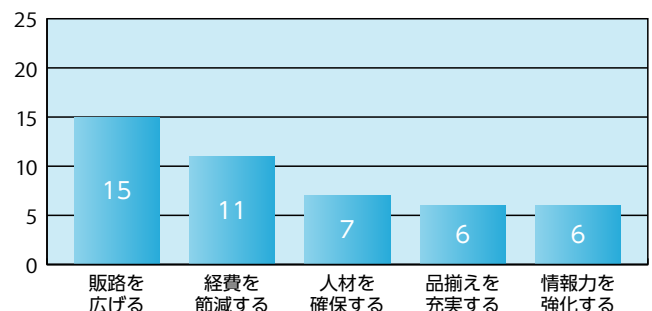
当期実績…2023年 4～6月期
来期予想…2023年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 10.1 ポイント改善の▲16.6 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 10.0 ポイント改善の▲10.0、収益 D.I. は 16.6 ポイント改善の▲8.4 となっております。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが 5 類に移行となり、人出の増加や消費行動の活発化に伴い、多くの飲食店において来店客数の増加となっております。

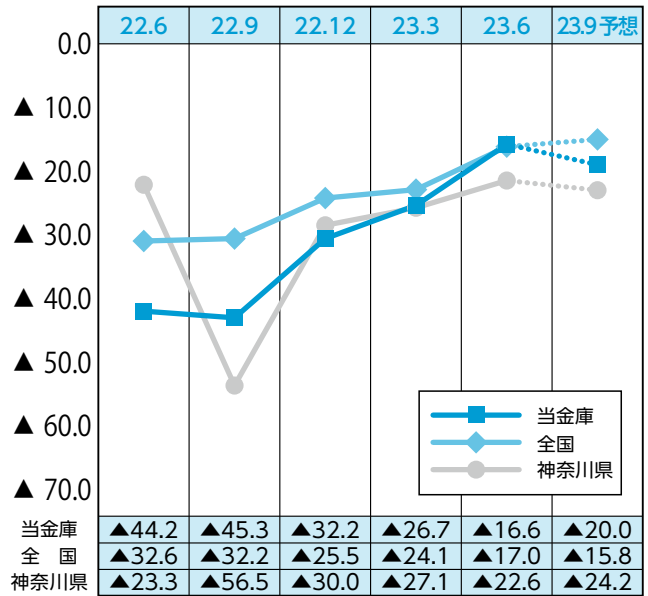
また、夜間の宴会等団体客の利用状況についても緩やかに改善の兆しが見えたことから、業況判断 D.I. の改善となっております。

しかしながら、卵や食用油などの仕入価格高騰及び水道光熱費等の値上げによるコスト上昇は依然続いていることから、当面の重点経営施策として経費を節減すると回答した企業が前回調査に比べ増加しております。

なお、全国は 7.1 ポイント改善の▲17.0 となっており、神奈川県は 4.5 ポイント改善の▲22.6 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 3.4 ポイント悪化の▲20.0 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	20.0	40.0	40.0	D.I.
前期実績	20.0	40.0	40.0	▲20.0	
当期実績	28.3	33.4	38.3	▲10.0	
来期予想	26.6	48.4	25.0	1.6	
前年同期比	36.6	35.1	28.3	8.3	

販売価格

	前期実績	40.0	55.0	5.0	D.I.
前期実績	40.0	55.0	5.0	35.0	
当期実績	45.0	50.0	5.0	40.0	
来期予想	38.3	58.4	3.3	35.0	

在庫

	前期実績	6.6	91.8	1.6	D.I.
前期実績	6.6	91.8	1.6	5.0	
当期実績	10.0	85.0	5.0	5.0	
来期予想	6.6	86.8	6.6	0.0	

人手

	前期実績	1.6	56.8	41.6	D.I.
前期実績	1.6	56.8	41.6	▲40.0	
当期実績	8.3	70.1	21.6	▲13.3	
来期予想	3.3	73.4	23.3	▲20.0	

収益

	前期実績	16.6	41.8	41.6	D.I.
前期実績	16.6	41.8	41.6	▲25.0	
当期実績	21.6	48.4	30.0	▲8.4	
来期予想	18.3	60.1	21.6	▲3.3	
前年同期比	30.0	36.7	33.3	▲3.3	

仕入価格

	前期実績	76.6	21.8	1.6	D.I.
前期実績	76.6	21.8	1.6	75.0	
当期実績	83.3	13.4	3.3	80.0	
来期予想	66.6	31.8	1.6	65.0	

資金繰り

	前期実績	3.3	78.4	18.3	D.I.
前期実績	3.3	78.4	18.3	▲15.0	
当期実績	3.3	81.7	15.0	▲11.7	
来期予想	6.6	80.1	13.3	▲6.7	

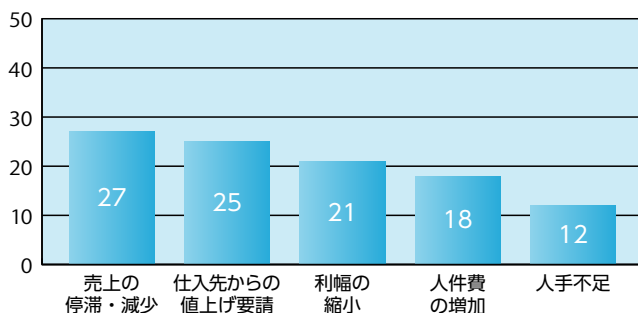
設備状況

	前期実績	90.0	10.0	D.I.
前期実績	90.0	10.0	▲10.0	
当期実績	1.6	85.1	13.3	▲11.7
来期予想	1.6	85.1	13.3	▲11.7

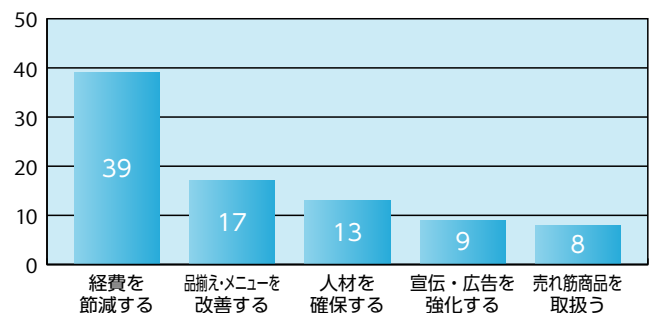
当期実績…2023年 4～6月期
来期予想…2023年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 15.6 ポイント改善の▲4.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 12.2 ポイント改善の 12.2、収益 D.I. は 25.0 ポイント改善の 0.0 となっております。

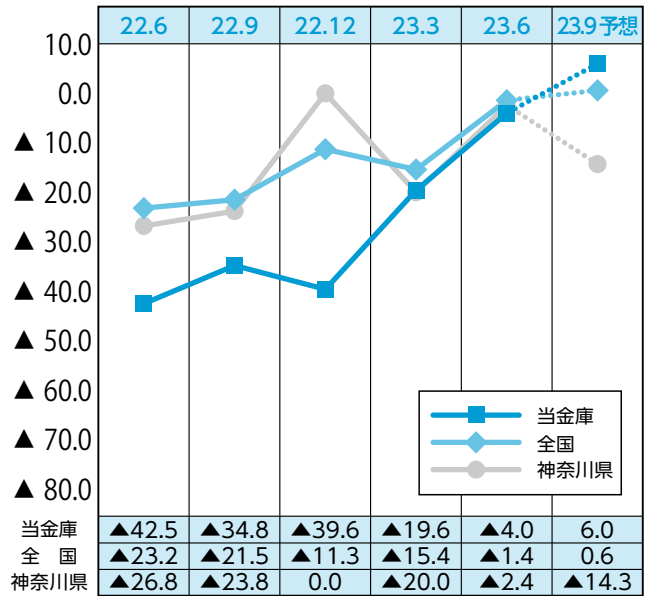
新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが 5 類に移行したことで経済活動の正常化が緩やかに進み、宿泊業、理美容業を中心に来店客数の増加に繋がったことから業況判断 D.I. の改善となっております。

一方、運送業や自動車整備業では、人材不足を背景とする受注の機会損失が生じており、人繰りに苦慮する企業がみられております。また、経営上の問題点としても人手不足と回答した企業が最も多い回答となっております。

なお、全国は 14.0 ポイント改善の▲1.4 となっており、神奈川県は 17.6 ポイント改善の▲2.4 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 10.0 ポイント改善の 6.0 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.		
前期実績	30.7	38.6	30.7		0.0		
当期実績		34.6	43.0	22.4	12.2		
来期予想			40.0	48.0	12.0	28.0	
前年同期比				48.9	28.7	22.4	26.5

料金価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.		
前期実績	21.1	73.2	5.7	15.4		
当期実績		18.3	79.7	2.0	16.3	
来期予想			8.0	90.0	2.0	6.0

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.		
前期実績	5.8	64.8	29.4	▲23.6		
当期実績		2.0	75.6	22.4	▲20.4	
来期予想			2.0	73.6	24.4	▲22.4

設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績		71.2	28.8	▲28.8	
当期実績		2.0	80.0	18.0	▲16.0
来期予想			82.0	18.0	▲18.0

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.		
前期実績	17.3	40.4	42.3		▲25.0		
当期実績		24.4	51.2	24.4	0.0		
来期予想			32.0	50.0	18.0	14.0	
前年同期比				30.6	42.9	26.5	4.1

材料価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績		76.9	21.2	1.9	75.0
当期実績		69.3	30.7		69.3
来期予想			48.0	52.0	48.0

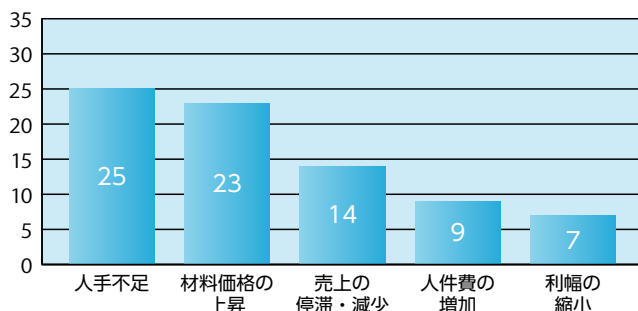
人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.		
前期実績	5.8	43.3	50.9	▲45.1		
当期実績		8.0	38.0	54.0	▲46.0	
来期予想			6.0	36.0	58.0	▲52.0

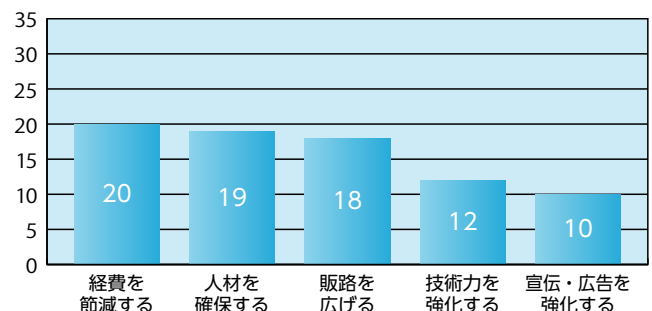
当期実績…2023年 4～6月期
来期予想…2023年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 6.2 ポイント改善の 0.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 16.5 ポイント改善の 19.6、収益 D.I. は 11.1 ポイント改善の 3.3 となっております。

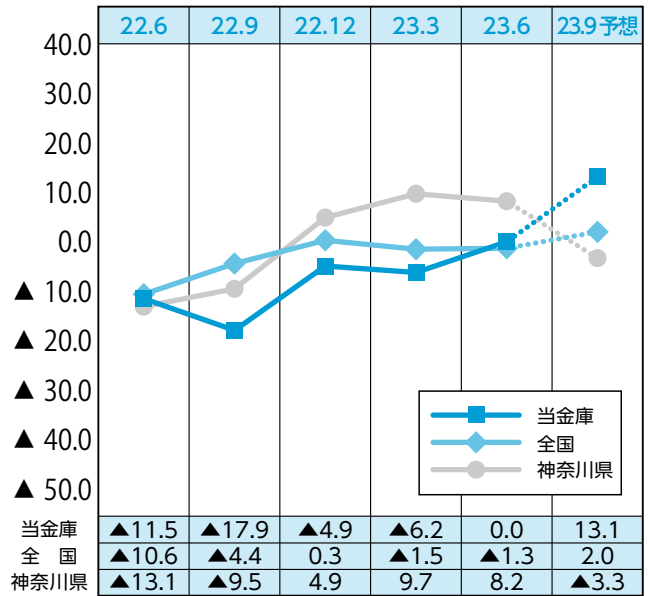
住宅関連工事において主要取引先からの安定した受注及び積極的な公共工事への入札に伴い受注増へ繋がった企業が目立ったことに加え、原材料価格高騰に対する請負価格への転嫁の動きも強まったことから、収益 D.I. の改善となっております。また、業況判断 D.I. につきましては、13 期ぶりのプラス域となっております。

しかしながら、建設業界全体の課題である人材不足や高齢化による下請け企業の減少に伴う受注の機会損失及び従業員の長時間労働が課題となっており、人材確保に対する対応策として外国人技能実習生の活用に取り組む企業が目まはっております。

なお、全国は 0.2 ポイント小幅改善の▲1.3 となっており、神奈川県は 1.5 ポイント小幅悪化の 8.2 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 13.1 ポイント改善の 13.1 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	29.6	43.9	26.5	D.I.
当期実績	40.9	37.8	21.3	19.6	
来期予想	37.7	49.2	13.1	24.6	
前年同期比	40.9	31.3	27.8	13.1	

請負価格

	前期実績	25.0	61.0	14.0	D.I.
当期実績	27.8	65.7	6.5	21.3	
来期予想	22.9	69.0	8.1	14.8	

在庫

	前期実績	4.6	89.2	6.2	D.I.
当期実績	1.6	91.9	6.5	▲4.9	
来期予想	90.2	9.8	▲9.8		

人手

	前期実績	4.6	42.3	53.1	D.I.
当期実績	49.2	50.8	▲50.8		
来期予想	44.3	55.7	▲55.7		

収益

	前期実績	20.3	51.6	28.1	D.I.
当期実績	21.3	60.7	18.0	3.3	
来期予想	19.6	62.4	18.0	1.6	
前年同期比	31.1	42.7	26.2	4.9	

材料価格

	前期実績	82.8	15.7	1.5	D.I.
当期実績	70.4	24.7	4.9	65.5	
来期予想	57.3	36.2	6.5	50.8	

資金繰り

	前期実績	3.1	76.6	20.3	D.I.
当期実績	11.4	72.3	16.3	▲4.9	
来期予想	6.5	75.5	18.0	▲11.5	

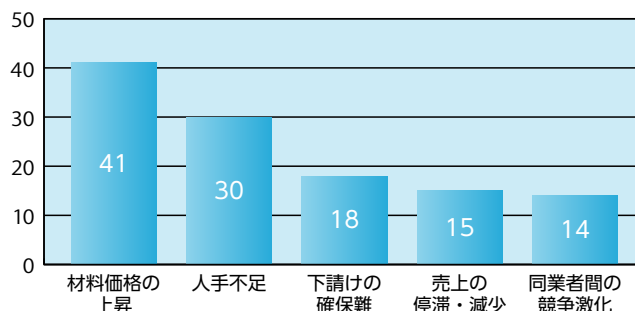
設備状況

	前期実績	1.5	93.9	4.6	D.I.
当期実績	1.6	90.3	8.1	▲6.5	
来期予想	90.2	9.8	▲9.8		

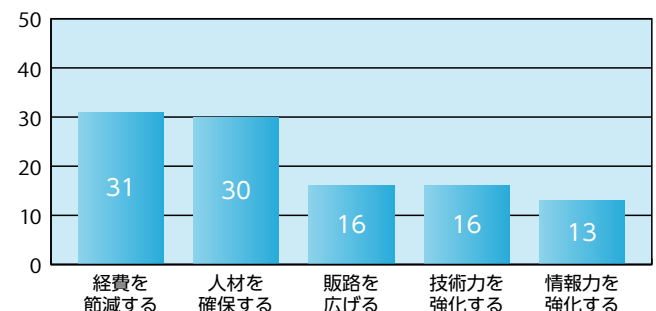
当期実績…2023年 4～6月期
来期予想…2023年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
過剰、楽 適正 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 18.9 ポイント改善の 2.8 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 0.6 ポイント小幅改善の▲5.6、収益 D.I. は 2.8 ポイント小幅悪化の▲2.8 となっております。

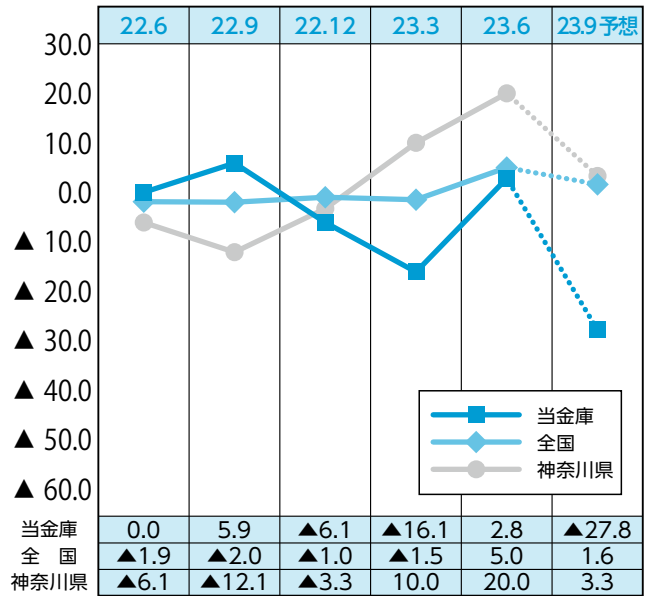
前回調査同様、当金庫主要営業エリア内における不動産ニーズは強く、保有在庫の早期売却が進んでいることから販売状況は好調を維持しており、業況判断 D.I. の改善となっております。

一方、商品仕入では、引き続き需要が供給を上回る状態が続いており、同業者間の仕入競争の激化がみられております。また、経営上の問題点として 7 割以上の企業が商品物件の不足を挙げていることから、仕入に苦慮している企業が多く見受けられております。

なお、全国は 6.5 ポイント改善の 5.0 となっており、神奈川県は 10.0 ポイント改善の 20.0 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 30.6 ポイント悪化の▲27.8 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	28.1	37.6	34.3		▲6.2
当期実績	27.7	39.0	33.3		▲5.6
来期予想	11.1	55.6	33.3		▲22.2
前年同期比	33.3	30.6	36.1		▲2.8

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	40.6	46.9	12.5	28.1
当期実績	16.6	69.6	13.8	2.8
来期予想	13.8	72.4	13.8	0.0

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	34.4	65.6		▲65.6
当期実績	2.7	44.6	52.7	▲50.0
来期予想	2.7	50.1	47.2	▲44.5

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	71.9	28.1		▲28.1
当期実績	72.3	27.7		▲27.7
来期予想	77.8	22.2		▲22.2

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	31.2	37.6	31.2		0.0
当期実績	27.7	41.8	30.5		▲2.8
来期予想	8.3	58.4	33.3		▲25.0
前年同期比	27.7	39.0	33.3		▲5.6

仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	50.0	43.8	6.2	43.8
当期実績	30.5	69.5		30.5
来期予想	25.0	75.0		25.0

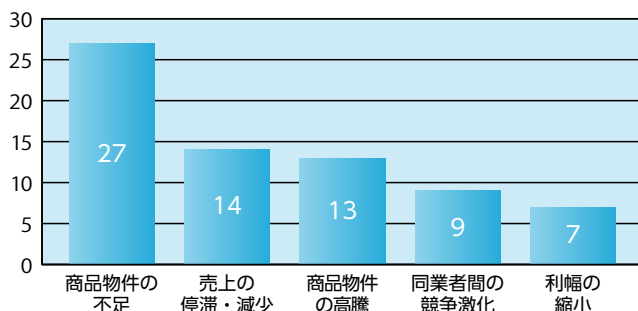
資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	6.2	75.1	18.7	▲12.5
当期実績	13.8	80.7	5.5	8.3
来期予想	11.1	80.6	8.3	2.8

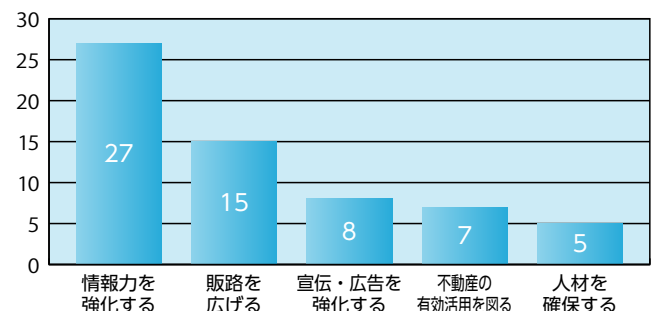
当期実績…2023年 4～6月期
来期予想…2023年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 340 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問 1. 貴社における今期（4月～6月）の売上について、昨年同月期と比較した時、どの程度変化が見られていますか。あてはまるものを1つ選んでお答えください。

- 70%以上の増加 5社
- 50%以上70%未満の増加 4社
- 30%以上50%未満の増加 16社
- 10%以上30%未満の増加 94社
- ほぼ変化なし（10%未満の増減） 131社
- 10%以上30%未満の減少 61社
- 30%以上50%未満の減少 5社
- 50%以上の減少 5社

問 2. 貴社における来期（7月～9月）の売上について、昨年同月期と比較した時、どの程度変化が予想されますか。あてはまるものを1つ選んでお答えください。

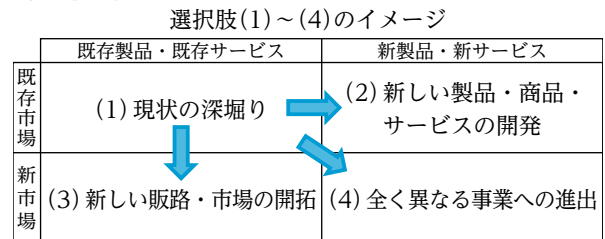
- 70%以上の増加 2社
- 50%以上70%未満の増加 5社
- 30%以上50%未満の増加 10社
- 10%以上30%未満の増加 88社
- ほぼ変化なし（10%未満の増減） 157社
- 10%以上30%未満の減少 52社
- 30%以上50%未満の減少 4社
- 50%以上の減少 2社

問 3. 貴社では、今期（4月～6月）において、原材料価格及びエネルギー価格等の高騰や円安の進行に伴う物価高騰に対しどの程度販売価格への転嫁をおこなっていますか。あてはまるものを1つ選んでお答えください。

- 価格高騰分の90%以上を転嫁できている 29社
- 価格高騰分の70%以上を転嫁できている 27社
- 価格高騰分の50%以上を転嫁できている 26社
- 価格高騰分の30%以上を転嫁できている 32社
- 価格高騰分の10%以上を転嫁できている 69社
- 価格高騰分をほぼ転嫁できていない（10%未満の増減） 129社
- 10%以上販売価格が減少している 3社
- 30%以上販売価格が減少している 0社

問 4. 貴社では、3～5年後に向けて、現在の事業をどのように展開していきたいと考えていますか。選択肢の(1)～(4)については右の図を参考にあてはまるものを1つ選んでお答えください。

- (1) 現在の事業を深堀りしてシェアや売上の拡大を目指していく 154社
- (2) 新しい製品・商品・サービスの開発を進めていく 30社
- (3) 新しい販路・市場の開拓を進めていく 52社
- (4) 全く異なる事業への展開を進めていく 10社
- (5) 事業の縮小・廃業を進めていく 13社
- (6) 特に考えていない（わからない） 59社



問 5. 貴社では、人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか。あてはまるものを最大3つまで選んでお答えください。

- 賃上げ等、待遇面の改善 178社
- ワークライフバランスの充実（長時間労働是正等） 82社
- 高齢者の就業促進 57社
- 女性が活躍しやすい環境整備 57社
- 人事管理（評価、処遇）の適正化 49社
- 外国人材の活用 30社
- 非正規雇用の処遇改善 27社
- テレワーク等、IT化の推進 22社
- 子育て、介護との両立支援 12社
- 特になし 0社

経営のポイント! 『経営戦略⑥』

数回に渡り企業戦略を策定するうえで大事な考え方である「ドメイン」について考えてきました。今回は経営資源をベースにして競争優位の源泉について考える「リソースベースドビュー（以下、RBV）」について考えていきたいと思います。RBVは外部環境を加味して自社のポジショニングを考えるポジショニング・アプローチと異なり、企業内部に競争優位の源泉を求める資源アプローチで、前提として企業ごとに有している経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）は異なっており、これらの差が企業業績等の差に表れてくるという考え方です。



経営資源の中でも特に競争優位の源泉となるのは、ノウハウ、技術、経験などの目には見えない資産の「情報資源」であり、①蓄積に時間がかかる②多重利用が可能③使い減りしない④消去困難などの理由から他社が模倣しにくいという特徴を持つためです。皆さまは自社の競争優位の源泉を把握されていますか？